

【資料1】
概要版



鳥取市森林（もり）づくりビジョン（案）

～豊かな自然や恵みを育む、未来につなぐ森林(もり)づくり～

今後も、林業事業者をはじめ、県や森林組合などの関係機関と協議を行い、ビジョンで示した森林づくりを推進します。

鳥取市 農林水産部 林務水産課
TEL 0857-30-8311
FAX 0857-20-3043
Email rinmusuisan@city.tottori.lg.jp

鳥取市 農林水産部 林務水産課

概要

本ビジョンは、森林の持つ良好な多面的な機能を、将来の子ども達に引き継いでいけるよう、将来を見据えた森林づくりの将来像、基本理念と基本的な取組みの方向性等について定めたものです。

目指す森林づくりの将来像

本市の未来の子どもたちにも豊かな森林の恵みが享受されるよう、目指す森林づくりの将来像は、

～豊かな自然や恵みを育む、未来につなぐ森林づくり～

として

持続的に林業経営に適する森林は、公益的機能に十分に配慮しながら木材生産林づくりを推進していきます。
地形等で林業経営に適さない森林、防災上、環境上配慮が必要な森林は針広混交林・広葉樹林化を推進していきます。

森林づくりの基本理念

将来像を実現していくための基本的理念を次のように定めます。

- 【理念1】多面的機能の高い森林づくり
- 【理念2】持続的林業経営が可能な森林づくり
- 【理念3】地域みんなで支える森林づくり

取組みの方向性

将来像や基本理念を踏まえ、取組みの方向性を定めます。

森林区分の明確化と森林価値の最大化

森林区分（ゾーニング）の設定と管理目標の設定
航空レーザ測量等を活用した森林境界の明確化、資源量の把握 等

木材生産・流通の低コスト化

スマート林業の普及・推進 等

土砂災害防止や洪水の緩和など防災機能の強化

急傾斜地等の保護対策の実施（針広混交林・広葉樹林化誘導林の導入） 等

林業経営体や人材の育成

林業アカデミー研修などの林業経営や技術習得等の支援 等

重点的な取組み

森林区分（ゾーニング）の設定と管理目標

地形等や植生などの自然的な特性や路網整備の状況などの経済的な特性を踏まえ、森林区分（ゾーニング）を設定。

現況	人工林		天然生林		
森林区分	林業経営林		針広混交林・ 広葉樹林化誘導林	管理天然生林	保全天然生林
形態	効率的な作業システムを導入すれば、持続可能な林業経営が可能な場所		持続的な林業経営が困難な場所や急傾斜地、沢沿い、もろい地質など防災上重要な場所、または、里山	里山や休養保養林、特用林産物の生育林などの場所	自然環境や生態系の保全、防災上保護することが適当な場所
木材生産	適地		不適地	適地	不適地
	斜度15度未満	斜度35度未満			
施業	一般施業 (約40～80年)	長伐施業 (約80～150年)		利用施業 (約10～20年)	保全
木材生産	極めて高い	中位	低い	高い	極めて低い

林業経営林の施業の方針

当面、生産性の低い森林では長伐期施業を進め、保育や搬出コストの削減などの生産コストの向上などの状況を見据えながら、適切な施業方法に適宜対応。

針広混交林・広葉樹林化誘導林の導入

天然力を活用して自然植生の成長を促進し複層林化へと誘導。

林業用路網の整備の方針

林道用路網の整備の目安を次のとおり設定。（単位：m/ha）

区分	作業システム	基幹路網			細部路網	路網密度
		林道	林業専用道	小計	森林作業道	
緩傾斜地 (0～15°)	車両系	15～20	20～30	35～50	65～200	100～250
中傾斜地 (15～30°)	車両系	15～20	10～20	25～40	50～160	75～200
	架線系				0～35	25～75
急傾斜地 (30～35°)	車両系	15～20	0～5	15～25	45～125	60～150
	架線系				0～25	15～50
急峻地 (35°～)	架線系	5～15	—	5～15	—	5～15

林業の担い手の育成及び確保

林業経営体の経営基盤の強化支援と併せ、研修支援等を通して多様な林業担い手の育成を支援。

森林資源の利用の拡大

千代川流域の自治体及び木材・林業関係事業者等と連携して、地域の木材資源の利用拡大を推進。

鳥獣害被害防止の取り組み

森林区分や生息状況に応じた侵入防止柵の設置や、効果的な捕獲方法と捕獲体制の構築を図る。

新たな森林管理システムの推進

林業経営に適し面的まとまりがあり、長期間施業されていない人工林など優先度の高い森林から、順次取組みを進め、新たな森林管理システムの推進を図る。